

# 経友会ニュース

平成31年4月3日 第11号  
 東京都市大学  
 経営システム工学科同窓会  
**経友会**  
 〒158-8557 世田谷区玉堤1-28-1  
<http://www.tcu-alumni.jp/branch/htdocs/keiyukai/>  
[keiyukai@ims.tcu.ac.jp](mailto:keiyukai@ims.tcu.ac.jp)



【特集】  
**学科名変更**

## 経営システム工学科 から 知能情報工学科へ

### 昔の名前が変わります

経友会会長

S49卒

海老沼利光

「ムサコウ」から「都市大」へ校名  
 が変更となり、9年が経過した。

最近、電車や新聞広告で都市大を目  
 にすることが多い。「新しい大学がで  
 きたのかと思っていた。そうか！そう  
 か！ムサコウが都市大に変わったの  
 か、やっと判った。」との話をよく聞く。  
 ムサコウ生としては「なにか、寂しさ」  
 を感じる瞬間である。

今年、建学九十周年だと広く広報  
 している。「都市大」がどうして九十  
 周年なのか？「都市大建学九十周年」  
 の理解を心配する卒業生が多いのでは  
 ないか。校名変更の戦略・背景は理解  
 しているつもりだ。「校名変更」のゴー  
 ルに向けて、皆で取り組んでゆきたい  
 ものだ。

「インダストリアルエンジニアリング  
 Ⅱ経営工学」は、アメリカの「コメー  
 ラーが十九世紀末に創始提唱した科学  
 的管理法・生産管理技術が日本に伝承  
 され、発展の基盤をなしてきた。伝承  
 直後は、「Ⅱ経営工学」の普及には時  
 間が必要であっただろう。今では、ト

ヨタ生産方式(TPS)「もうけるE」は、  
 全世界の企業で注目され、トヨタ生産  
 方式を実践していない企業はゼロであ  
 る。

トヨタ自工元副社長大野耐一著「ト  
 ヨタ生産方式」は昭和五十三年発  
 刊以来45万部(ダイヤモンド社  
 2017.12現在)の発行に達する隠れ  
 たベストセラーになっている。経営工  
 学・Eは、全世界の企業の実践・実  
 務の場で今でも生き続けている。

この「経営工学・E」の名称が今年  
 から変わる。4月の入学生より「経営  
 システム工学科」が新たな学科名「知  
 能情報工学科」へ！

「学科名変更」の背景には、戦略・  
 背景・目的があることを理解してい  
 つもりだ。「知能情報工学」に馴染む  
 には少しの時間がかかりそうだ。

大学の入り口である高校生が受ける  
 印象・イメージはどうであろうか。「新  
 しい社会を創造する先進的技術者を育  
 成する学科」に魅力を感じる高校生達  
 が増大することに大いに期待したい。

大学の出口側である卒業生を受け入  
 れる企業・社会の印象はどうであろ  
 うか。「名は体を表す」と言われる。学  
 科名から技術領域がわかるには少し  
 時間がかかりそうだ。企業人や社会人  
 からは、「知能情報工学は、どのよう  
 な領域なのか？」との質問を学生は受  
 けるであろう。この質問には、的確に  
 答えることが必須である。

学科名から「経」がとれた今日、経  
 友会の名称をどうするかは課題が残  
 る。卒業生の皆様からのご意見をお待  
 ちしています。

今後の知能情報工学科の発展に経友  
 会も大いに協力・支援してゆきたい。

### 知能情報工学科の目指す教育・研究

経営システム工学科 講師

H8卒 岡 誠

経営システム工学科は平成31年度よ  
 り知能情報工学科へ名称変更いたしま  
 す。

平成30年度末に経営工学科時代から  
 生産管理分野を担当する細野准教授が  
 定年退職されます。また、平成30年度  
 末で生産管理分野を担当する大久保准  
 教授、経営管理分野を担当する岡田准  
 教授の所属が、環境学部環境マネジメ  
 ント学科(平成31年度より環境経営シ  
 ステム学科に名称変更)へ異動になり  
 ます。その結果、いわゆる「E」を担  
 当する教員が0になります。

また平成31年度より、「E」分野を担当  
 する塩本教授、神野教授が情報通信工  
 学科から知能情報工学科へ異動になり  
 ます。

経営システム工学科は企業を支える  
 生産管理、品質管理を中心とした古典  
 的な経営工学ではなく、企業の先頭に  
 立つて新しい製品やサービスを企画・  
 設計する新しい経営工学を標榜して教  
 育・研究を行うために、図1にあるよ  
 うに4分野を設けて運営していまし  
 た。今回の名称変更は、内容は大きく  
 変えず、より現状に即した名称に変更  
 するためのものです。

「経営管理システム」は企業を支え  
 る既存の企業会計、企業評価を中心  
 にした経営管理から、企業の組織として  
 の知識や知能に焦点を当てた「知的経  
 営システム」に変更します。

「市場モデリング」では統計学を基  
 本に様々なデータの分析を中心に行っ  
 ておりました。現代においては、クラ  
 ウドやIoTから収集されるビッグデー

タを解析することが増えていきます。そ  
 こで名称を「大規模データ解析」に変  
 更します。

「生産システム」は古典的なEから、  
 現代のIoTやロボットなどを用いた新  
 しい産業システムが必要です。そこで  
 名称を「産業システム」に変更します。  
 「産業システム」は新たに参加される  
 塩本教授、神野教授が担当されます。

今回の名称変更の一つの目玉が新規  
 に追加される人工知能分野です。人工  
 知能は2012年に大きなブレイク  
 スルーがあり、その後は人工知能(EI)  
 という単語を聞かない日はないくらい  
 新しい製品・サービスが日々生まれて  
 います。我々が「企業の先頭に立つて  
 新しい製品やサービスを企画・設計す  
 る新しい経営工学を標榜」するには、  
 人工知能の知識が必須であるという結  
 論に至りました。当面、人間情報シス  
 テムを担当する教員が兼任する予定で  
 す。将来的には、専任教員を採用し、  
 人工知能分野を補強する予定です。

今回の名称変更で、対象としての  
 「経営」が名称から消え、手段として  
 の「知能」を中心とした名称になりま  
 すが、あくまで名称変更であり経営工  
 学の考え方が消えるわけではありません  
 ん。卒業生の皆様には、これまでと変  
 わらず温かいご支援をいただければ幸  
 いです。

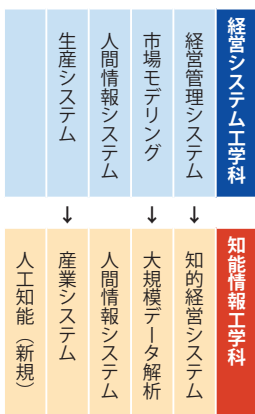


図1 経営システム工学科と知能情報工学科の比較

「広報しないことは、活動してないことと同じだ!」との「思い」から昨年、復活発行した「経友会ニュース10号」を、皆さまお読み頂けましたでしょうか。まだの方は、ぜひ経友会ホームページからご覧下さい。

「経友会ニュースを継続しなければ!」との強い思いで、経友会役員一同は、取り組んでいきます。

経友会会長

S49卒 海老沼利光

**経友会この1年**

この1年の「主な経友会活動と学科状況」について、報告します。

**【平成30年3月役員会】**

- ①平成30年4月から平成31年4月の役員選出を審議し決議しました。
- ②平成5年から経友会会則を改訂していませんでした。校名変更に伴う改訂すべき点などを平成30年3月の役員会にて改訂審議し、改訂案を決議しました。

**【4月】**

- ①平成31年4月入学の学生より、学科名が経営システム工学科から知能情報工学科へ学科名が変わります。平成30年4月入学の学生が卒業するまで経営システム工学科の学科名は残ります。
- ②「総会と懇親会開催だけからの脱却」を目指し、学科学生・

経工会との交流を開始し、3年になりました。初年度からの「エビ会」を継続しています。1年目のエビ会参加学生は、多数の企業より(志望企業より)内定・内々定をいただきました。エビ会をやっていてよかったと学生と共に喜んでいきます。

- ③平成30年4月より、経友会役員に新たに大畑智宏氏(平成9卒)と渡邊康斗氏(平成29卒)の2名が加わりました。役員の平均年齢が7歳も若返りました。任期は平成30年4月から平成31年3月です。

- ④田村幹事長による「企画・運営提示」を基に、経友会役員会を3ヶ月に1回程度の定期開催にて、運営・活動の企画を立案しています。

**【6月】**

- ①地方支部へ広報するために地方支部総会開催時には校友会事務局を通じて毎回、「経友会ニュース」をお届けしています。

**【8月】**

- ①8月1日に経友会役員会(桐会議室にて)を実施した後、経友会、経工会、学科教員の3者が校友会館自由が丘クラブに一堂に会し、経工会成果発表会&暑気払い(柏会議室にて)を行いました。

- ②鈴木副会長が中心となり役員全員で経友会ニュースを編集・発行しています。8月の

役員会にて11号の編集・企画立案しました。

- ③毎月開催される「校友会常任幹事会及び総務・企画委員会」の活動状況を金子副会長・校友会常任幹事(経友会副会長)から報告を受けています。8月の経友会役員会においても、報告がありました。

- ④「校友会の地方支部支援金支給基準」に準じた、「経友会支援金基準」をベースに年間予算を鈴木副会長が起案しました。8月の役員会にて審議の上、校友会へ予算申請しました。平成30年度事業実施計画と支援金申請書(年80万円)を校友会へ提出しました。この活動支援金は、経友会活動に活用しています。

- ⑤予算管理・運営を、岡会計幹事(経営システム工学科講師)が担当しています。

※6年前より経友会会員からは「年会費」を徴収してません。

**【9月】**

- ①校友会主催の「第1回のあり方検討会」9月15日開催には、経友会からは、大畑幹事、渡邊幹事、田村幹事長、金子副会長と海老沼会長の5名が出席し、「10年後の校友会の姿」を議論しました。

**【10月】**

- ①学生支援の重要課題である「就職支援」については、渡邊康斗幹事を中心に「企業研究会」の企画・運営を行いました。

**【11月】**

- ①(株)富士電機 東京工場見学会 29日 経営システム工学科(経工会・学科研究会)と経友会メンバーが「第8回合同工場見学会」に参加しました。



**【平成31年3月】**

- ①3月末で細野泰彦准教授が退任となりました。3月10日(日)に退任記念講演及び記念パーティを行いました。別添掲載記事をご覧ください。

- ②全国に地方支部が42支部あります。その内、7支部の支部長を経営工学科出身者が務めています。経友会ニュース11号では「支部長誌上紹介」を掲載しました。

- ③平成30年3月末に退任した、横山真一郎教授の経友会主催の記念パーティ等は、「個人的な諸事情」により、実施しませんでした。この報告が遅くなったことをお詫びします。

**経工会4年生 「就活体験」をアドバイス!**

有馬さん(カルソニックカンセイ)、上村さん(日産自動車)、大場さん(富士電機)の3名(いずれも経工会4年生)が2年生に就活の体験談を6月16日、25日と7月2日に話してくれました。2年生は、まだ先のことと思いつつも、真剣に3人の話を聞いていました。

終了後には、新井経工会会長へ経工会、エビ会への入会希望者の申し出がありました。また、3人は新年度より経友会幹事に就任します。



左より 有馬秀太・海老沼会長・上村俊晴・大場章行







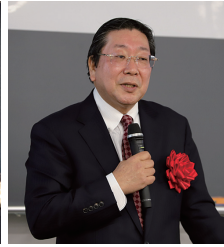
最終講義風景



最終講義



実行委員の皆さんと



記念パーティー

### 細野泰彦教授 定年退任記念

#### 最終講義・記念パーティー

平成31年3月10日、最終講義を新6号館にて80名以上の卒業生と教職員出席のもと、「経営工学は人類を救うー経営と工学による問題解決」のテーマでおこなわれました。その後、メモリアルホールに移り先生のご家族も参加されて盛大な記念パーティーが開催されました。

#### 経営工学は人類を救う学問だ

S51卒准教授 細野 泰彦



例えば、武蔵工業大学の経営工学科に入学して、「経営工学」という学問に出逢い、これを専門とする幸運に恵まれました。

私たちは、経営工学ってどんな学問ですかと、よく訊かれます。取り敢えず、工場の品質管理や生産管理を勉強するんですと答えると、判然としない顔で黙ってしまいます。JIS用語の定義を使つて説明すると正しいはずですが、これも分かりやすくはありません。経営工学は、問題解決の学問であり、システムを設計する学問であるというほうが、少しは実態に近いでしょう。問題解決の出発点は、問題意識です。何を問題とするかが、重要です。そしてその問題にある様々な要素と関連性を解明し、望ましい結果をもたらす仕組み(システム)を設計するのが、経営工学の原理だと考えます。なので、人類が直面する問題の解決にチャレンジするのが大事だと思うようになります。私は、この経営工学の発展を使命と考へ、情熱をもって、これからも研鑽していく所存です。今般は、私の最終講義と退職記念パーティーに八十名以上の方々にお越し頂き、また数多くの祝辞や励ましのお言葉など、望外の幸せを賜り、厚くお礼を申し上げる次第です。

#### 細野研究室のはじまり

先生が昭和61年に講師になられた、その年に細野研究室が誕生しました。一期生は私を含め八人、先生と11年しか歳が離れてないので師弟と言うより、ちよつと歳の離れた兄弟という印象が強かった記憶があります。当時ゼミの最初の活動が吉田研究室の倉庫の半分をお借りし研究室をみんなで作る事から始まりました。今思えば、何故専門業者を手配して作つて貰わなかつたのかなど。当時は誰も文句も言わずに、まるで文化祭のように黙々と今だつたら研究室がないと事前に分かつたらゼミ生集まりませんよね、きつと。部屋は出来ましたが元々倉庫なので水道(蛇口)もガスもないそんな研究室でした。しかし、先生含めみんなで議論し一から作つた本当の手作り研究室だったので大変良い思い出となっています。



S62卒 山田 竜郎

それから32年が過ぎ先生が引退！本当に長い教壇生活お疲れ様でした。多くの素晴らしい学生を社会に輩出して頂いたことを改めて感謝申し上げます。先生の新しい世界での益々のご活躍とご健康、ご多幸を心より祈念しております！今回、先生の退職記念式典へ大変多くの皆様に参加頂けたこと幹事一同御礼申し上げます。

#### 思い出

私は事情があり、他の学生よりも半年遅く細野研究室に配属されました。特殊な状況だったにもかかわらず、先生はあたたかく迎えてくれました。そこから学部生、大学院生として3年間細野研究室で過ごしました。



H19卒 大橋 伸一郎

細野研究室には「学問の前には先生も学生も対等である」というモットーがあります。その言葉どおり、卒業研究や修士論文では、先生とは対等に議論をさせていただいたことを今でも覚えていています。偶然ではありますが、修士論文の発表を先生の母校である大阪府立大学でできたことは、今でも印象に残っています。先生からは研究や論文以外にも、様々なことを教えていただきました。これは学生時代のことだけでなく、社会人になつてもかまいません。これは私の推測ですが、先生には「学問以外でも」先生と学生も対等であるという考えがあつたのかもしれない。今回、退任お祝会を実施するにあたり、細野研究室の先輩方と打ち合わせや作業をさせていただきました。初めてお会いする方々ばかりだったのでありますが、非常に濃密な時間を過ごすことができました。このような出会いを提供していただいた先生には改めて感謝を申し上げます。



全国で活躍する経友会員

校友会には、全国に43支部があります。43支部中、7支部で経営工学科出身の支部長が活躍しています。

- ① 鹿児島支部長  
S 41卒 郡山 宣治
- ② 山形支部長  
S 42卒 五百川好則
- ③ 島根支部長  
S 43卒 今崎 一治
- ④ 京滋支部長(京都府・滋賀県)  
S 51卒 廣原 美照
- ⑤ 佐賀支部長  
S 54卒 横山 敬司
- ⑥ 静岡支部長  
S 53卒 金子 和裕
- ⑦ 富山支部長  
S 56卒 鹿熊 祐二

今回の経友会ニュースでは、廣原美照 京滋支部長と金子和裕 静岡支部長のお二人に「近況報告・支部長紹介」他、思いのままに記事を書いて頂き、掲載しました。

経友会ニュースは、各支部の総会開催時に合わせて校友会事務局よりお送りしています。どうぞ、お読みください。



2018年11月4日 世田谷キャンパス ホームカミングデーにて  
左：海老沼会長 右：廣原京滋支部長

S 51卒 廣原 美照  
経友会ニュースへの寄稿を依頼されるも、さてさて困ったもので何も思い浮かばず頭抱えておりましたが、期日迫り催促されるに至って観念し、ようやく筆を執る次第です。

現在、私は校友会の京滋支部(京都府と滋賀県の合同支部)の支部長を拝命させていただいております。仕事に明け暮れていた時には校友会にも経友会にも全く無縁でしたが、還暦も過ぎ支部長を仰せつかったところから、多くの素晴らしい先輩、後輩諸氏ともお出会いでき、ここ数年は年に何回も世田谷キャンパスへ足を運ぶようにもなりました。何十年ぶりに訪れたところ、母校はすっかり変わっていました。が現役時代そのままに残る10号館?とクラブハウスの懐かしさにホットしたのを覚えています。WV部に所属し山登りとそのためのバイトに明け暮れ、クラブハウスに通っていた私には、そのまま今も当時の建物が残って

いることが救いではありました。聞くところによると昭和38年第一期卒で始まる経営工学科が、その名を変遷させながら経営システム工学科の名を最後に来季より完全になくなってしまふとのこと、これもまたなんとも寂しい限りです。ゆくゆくは「経友会」の名前の変更すら取りざたされる時代が来るのだろうか、せめてこれぐらいは残しておいてほしいなんて考えてしまふ次第です。

近代的なガラス張りの校舎がまた一つ新たに出現し、どんな浦島太郎化していく我が身には一抹の寂しさも付きまといはします。が、母校がどんな発展していくことは誠に喜ばしく、いつまでも誇りに思える母校であり続けて欲しいと、及ばずながらもできる限りの協力は惜しまず応援していきたいと考えてる昨今です。



(株)河合楽器製作所 取締役副社長

S 53卒 金子 和裕

今年4月より校友会静岡支部長を仰せつかりました経営工学科

科S 53卒の金子と申します。私は、東京・世田谷の出身ですが、「モノづくり」への拘りから静岡県浜松市に本社のある(株)河合楽器製作所に就職しました。ピアノはまったく弾けません。入社当時は、情報管理部門、その後経営企画部門に至るまで管理部門を経験しましたが、「モノづくり」企業として生産現場を抱える当社にとっては、経営工学科で学んだことのすべてが役に立ちました。

学生時代は、どのように役立つのかなどあまり考えてもいませんでしたが、FW・テラーが提唱した「科学的管理法」をはじめとして、設計製図、品質管理、簿記・原価管理に至るまでピアノメーカーとして必要な知識や理論がすべてとあっていよいよ網羅されていた経営工学科のカリキュラム編成は素晴らしい内容だったと思います。入社後のさまざまな異動部門では、いろいろと勉強しなくてはなりませんでしたが、基本的には経営工学科で学んだことがベースになりました。

理工(ムサコウ)・経営工学で学べたことを誇りに思っています。「経営工学科から知能情報工学科」へ学科名が変わっても「モノづくりの経営」という視点を持ち続けて貰いたいと願っています。

「都市大校友オンライン」へ登録をお願いします。

経友会は「都市大校友オンライン」を積極的に活用してまいります。是非、ご登録ください。初回のアクセスには初期会員IDとパスワードが必要です。登録方法がよくわからない場合は校友会事務局 (TEL.03-3703-3862 / E-mail:koyukai@tcu.ac.jp) へお問い合わせ下さい。

校友会ホームページのこのボタン  
又はQRコードよりアクセスして下さい。



編集後記

新生「経友会ニュース」第二弾は、お楽しみいただけましたでしょうか。

今年度は「学科名変更」という大きなニュースが飛び込んできました。最近の大学の組織改革や校舎の新・増築などを目的の当たりになっていると隔世の感に堪えません。

本号が同じ思いを持つ経友会会員の疑問や不安の解消に、幾らかでも役に立つことができたなら幸いです。

経友会副会長

S 52卒 鈴木 典幸